

❖ 理事長挨拶 ❖



公益社団法人 大正琴協会理事長 海部 俊樹

日頃より公益社団法人大正琴協会の運営に対しまして、多くの皆様のご支援を賜りありがとうございます。

当協会は、平成5年の設立以来、流派を越えて大正琴音楽文化の普及発展に務めて参りましたが、今年4月1日に、内閣府の認定を受け大正琴で唯一の公益社団法人として、一層重大な責務を果たしていくこととなりました。

奇しくも今年は当協会が発足して20周年の節目の年でもあります。昨年の大正琴誕生100年の慶事に続き、当協会が新たなるステージに歩みを進められたことは、理事長の私にとっても大きな誇りでもあります。

今回の「協会たより」は公益社団法人移行後初の会報です。意気揚々と新たな船出をする船長のような気持ちで、この会報により当協会の歩みと今後の道筋が皆様に伝わることを願うとともに、これからも皆様と手を取り合って新しい大正琴の歴史をひとつずつ刻んで参りたいと思います。

❖ 公益社団法人移行経緯報告 ❖

平成20年12月の新公益法人制度施行に伴い、社団法人大正琴協会は、平成25年4月に公益社団法人大正琴協会となりましたので、その経緯を報告します。

- 平成20年12月 新公益法人制度施行
- 平成24年6月 公益社団法人移行準備承認（第39回通常総会）
- 同年10月 移行認定申請書承認（第40回通常総会）、移行認定申請書提出
- 平成25年3月 内閣総理大臣より公益社団法人認定受ける
- 同年4月 公益社団法人大正琴協会の移行登記完了

❖ 大正琴協会マーク紹介 ❖

大正琴協会が公益社団法人に移行したことを機に、平成25年4月に当協会のマークを定めました。このマークは、日本で生まれた大正琴とその音楽文化を、大切な核（コア）として育み継承していく姿を、両手でやさしく包み込むようなデザインで表現しています。

大正琴協会正会員の皆様には、機会があるごとにこのマークをお使いいただき、大正琴音楽文化と当協会のPRにご活用いただきますようお願いいたします。

なお、大正琴協会マークは当協会ホームページからダウンロードできます。



❖ 大正琴協会ホームページ紹介 ❖

公益法人移行に伴い、当協会ホームページも、より分かりやすい情報発信を行えるよう一新しました。

協会概要や事業の紹介、大正琴の歴史等の基本情報に加え、「お知らせ」専用ページを新設し、事業の開催に合わせ細やかな情報提供を行って参りますので、協会ホームページも是非ご覧ください。

【公益社団法人大正琴協会ホームページ】

<http://www.taishokoto.or.jp/>

インターネットの検索画面で「大正琴協会」と入れて検索してもご覧いただけます。



❖ 『大正琴の日』ロゴマークのご紹介 ❖



大正琴は、名古屋の森田吾郎氏が発明し、大正元年（1912年）9月9日の重陽の節句に発売されました。

誕生100周年を迎えた平成23年（2011年）に、当協会では大正琴音楽文化の一層の発展を願い毎年9月9日を『大正琴の日』と制定し、大正琴が満100歳を迎えた翌年（平成24年）に、『大正琴の日』のロゴマークを公募により決定しました。

こちらのロゴマークは大正琴協会正会員以外の方もご利用いただけます。利用に関する

諸注意等は当協会ホームページにてご確認ください。

❖ 社団法人大正琴協会第40回通常総会議事録 ❖

- 日 時 平成24年10月24日(水)
開会 午後1時00分
閉会 午後2時10分
- 場 所 大阪市淀川区西宮原一丁目3番35号 大阪ガーデンパレス
- 出席状況 議決権のある当法人社員数 3,577名
総社員の議決権の数 3,577個
出席社員数（委任状による者を含む） 2,879名
この議決権の総数 2,879個
- 出席理事 出席理事 岩間 昌一、北林 豊、佐伯 恒司、北林 篤、岡本 浩二、
吉崎 裕幸、眞鍋 義廣、大木本正次、坂本佐智子、伊藤 隆志、
加藤 誠
出席監事 遠島 敏行、丹羽 正夫
- 議事の概要
 - 開会
定刻に、司会者の岡本浩二常務理事が挨拶。
北林豊常務理事が、開会を宣言。
 - 議長選出
司会者が、議長選出方法を議場に諮ったところ、司会者一任の声あり。よって、岩間昌一副理事長を本総会の議長としたい旨諮ったところ、賛成多数をもって選出し、同氏は、これを了承し議長となった。議長は、事務局に出席状況の報告をさせた。議長は、正会員現在数の4分の3以上の出席があったので、本総会が成立した旨を述べた。

(3) 議事録署名人選出

議長が、議事に先立ち議事録署名人2名の選出について諮ったところ、議長一任の発言があり全員異議なく賛成したので、議長は、北林篤常務理事及び吉崎裕幸常務理事を指名し、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

被選任者らは、いずれもこれを承諾した。

6. 議 事

第1号議案 平成24年度収支予算執行状況に関する件

議長が、横澤美樹事務局員に本件議案の説明を求めた。

同人は、予め配布した資料をもとに収支予算執行状況（平成24年4月1日から同年8月31日まで）について詳しく報告した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、本件を了した。

第2号議案 平成25年度事業計画案承認に関する件

議長が、企画委員長北林篤常務理事に本件議案の説明を求めた。

同理事は、予め配布した資料をもとに平成25年度事業計画案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決した。

第3号議案 平成25年度収支予算案承認に関する件

議長が、横澤美樹事務局員に本件議案の説明を求めた。

同人は、予め配布した資料をもとに平成25年度収支予算案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決した。

第4号議案 公益社団法人への移行に伴う定款変更案及び各種規則案の承認に関する件

議長は、予め配布した資料をもとに公益社団法人への移行に伴う定款変更案及び各種規則案を詳しく説明した。

また、各変更案につき、移行認定申請手続上の必要又は行政庁の指摘により、条文の表現、字句の訂正等の必要があるときは、理事長に一任してほしい旨の説明もなされた。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決した。

第5号議案 代表理事及び業務執行理事等の選任に関する件

議長は、公益社団法人への名称変更による設立の登記の際に就任する代表理事及び業務執行理事を選任する必要がある旨を述べ、その選任方法を諮ったところ、出席社員中から議長一任の発言があり、全員異議なく賛成したので議長は下記の者を指名し、その可否を諮ったところ、満場異議なく賛成したので、下記のとおり選任することに可決確定した。

また、議長は、当該代表理事及び業務執行理事は、定款の変更に係る附則に定めるべきものであるから、選任された者を附則に定めることとしたい旨を諮ったところ、満場異議なくこれを承認可決した。

代表理事（理事長） 海部 俊樹

代表理事（副理事長） 岩間 昌一

業務執行理事（常務理事） 北林 豊、佐伯 恒司、北林 篤、吉崎 裕幸、岡本 浩二

第6号議案 公益認定申請に関する件

議長が、総務委員長北林豊常務理事に本件議案の説明を求めた。

同理事は、予め配布した資料をもとに公益認定申請の申請書類について詳しく報告した。

また、各申請書類につき、移行認定申請手続上の必要又は行政庁の指摘により、申請書面の表現、字句の訂正等の必要があるときは、理事長に一任してほしい旨の説明もなされた。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を諮ったところ、全員一致をもってこれを承認可決した。

第7号議案 公益社団法人移行初年度の役員構成に関する件

議長が、組織委員長佐伯恒司常務理事に本件議案の説明を求めた。

同理事は、予め配布した資料をもとに公益社団法人移行初年度の役員構成を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決した。

7. 閉 会

以上をもって、社団法人大正琴協会第40回通常総会の議案の全部を終了したので、議長は、議場にその協力を謝し、降壇した。そして、北林豊常務理事が閉会を宣した。

上記決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は次に署名押印する。

平成24年10月24日

社団法人大正琴協会 通常総会

議 長 岩 間 昌 一



議事録署名人 北 林 篤



同 吉 崎 裕 幸



❖ 平成24年度大正琴寄贈・講師派遣事業報告 ❖

次世代への大正琴継承を目指し、平成19年度から始まった学校等への大正琴の寄贈と、講師派遣事業も、6年目を終了しました。

平成24年度は、全国の正会員のご協力により、北は北海道から南は沖縄まで、45の教育機関に106台の大正琴を寄贈し、619名が受講することができました。この事業により、着実に次世代の子ども達に大正琴を知ってもらふ機会が広がり、先般行われた「全国子ども大正琴コンクール」の参加グループ増へとつながっています。引き続き会員の皆様には学校等の教育機関における大正琴の普及にご協力をお願いします。

大正琴普及事業 平成24年度 寄贈及び講師派遣先

No.	県	学 校 名	No.	県	学 校 名	No.	県	学 校 名
1	北海道	池田町立利別小学校	16		島田市立神座小学校	31	大阪府	高槻市立上牧小学校
2	青森県	大館市立早口小学校	17		島田市立島田第四小学校	32		忠岡町立東忠岡小学校
3	岩手県	久慈市立幸町公民館	18		島田市立五和小学校	33		忠岡町児童館
4	福島県	田村市立船引南中学校	19		吉田町立中央小学校	34		岸和田市立城北小学校
5		梨花の里児童クラブ	20		島田市立六合小学校	35	奈良県	王寺町立王寺北小学校
6	埼玉県	飯能市立富士見小学校	21	愛知県	豊田市立梅坪小学校	36	広島県	廿日市市立宮内小学校
7	千葉県	東金市立鴫嶺小学校	22		学校法人国際学園 星槎名古屋中学校	37	福岡県	朝倉市立金川小学校
8	東京都	八王子市立大和田小学校	23	三重県	菟野町立朝上小学校	38		朝倉市立三奈木小学校
9	神奈川県	学校法人国際学園 星槎大学湘南大磯キャンパス	24		鈴鹿市立庄内小学校	39	熊本県	和水町立菊水西小学校
10	長野県	あさしな児童館	25		四日市市立大矢知興譲小学校	40	大分県	大分東明高校
11	石川県	和倉温泉福祉会 あかくら保育園	26	京都府	城陽市教育委員会(文化体育振興課)	41	宮崎県	宮崎市立住吉小学校
12	福井県	高浜市立高浜中学校	27		京都教育大学附属京都中学校	42	沖縄県	那覇市立松川小学校
13	岐阜県	高山市立宮小学校	28		京都市立伏見住吉小学校	43		那覇市若狭公民館
14	静岡県	掛川市立西山口小学校	29		舞鶴市立中筋小学校	44		那覇市立若狭小学校
15		島田市立島田第三小学校	30		舞鶴市立新舞鶴小学校	45		沖縄市立泡瀬小学校

❖ 「平成24年度大正琴定期演奏会」開催 ❖

平成25年2月3日(日)に、大阪府高槻市の「高槻現代劇場」で、「平成24年度大正琴定期演奏会」が開催され、一般20グループ、指導者3グループのほか、「平成24年度全国子ども大正琴コンクール」で最優秀賞を受賞した子どもグループも2グループ出場し、計25グループ(約1,100名)が華やかな舞台を繰り広げました。

当日は、開場前から観客が列を作り、開演から終演までほぼ客席が満席の大盛況の演奏会となりました。

今回は2月8日(土)に、静岡市の静岡市清水文化会館「マリナート」で開催され、一般のお客様は入場無料です。大正琴による様々な音楽表現を体感できる演奏会ですので、お誘い合わせてご来場ください。



❖ 平成24年度決算 ❖

貸借対照表の要旨

平成25年3月31日現在 (単位:千円)

	科 目	金 額
資産の部	流動資産	10,003
	固定資産	26,322
	合計	36,326
負債及び 正味財産 の部	流動負債	440
	負債合計	440
	指定正味財産	0
	一般正味財産	35,885
	正味財産合計	35,885
	合計	36,326



公益社団法人 大正琴協会 第1回通常総会議事録

1. 総会の種類 第1回通常総会
 2. 招集年月日 平成25年5月2日(水)
 3. 開催日時 平成25年6月5日(水) 午後1時00分から同1時45分
 4. 開催場所 名古屋市中区錦三丁目11番13号 名古屋ガーデンパレス
 5. 出席社員の状況

議決権のある社員(正会員)総数	3,627名
総社員の議決権の数	3,627個
出席社員数(委任状による者を含む)	2,894名
この議決権の総数	2,894個
(内、代理権行使による議決権数)	2,861個)
 6. 議長兼議事録作成者 副理事長 岩間昌一
 7. 出席役員等

出席理事	岩間 昌一、北林 豊、佐伯 恒司、北林 篤、吉崎 裕幸、岡本 浩二、 池田 真一、伊藤 隆志、加藤 誠
出席監事	遠島 敏行、丹羽 正夫
事務局	横澤 美樹
 8. 会議の目的事項並びに議事の経過の要領及び結果
 - (1) 開会
定刻に、司会者の岡本浩二常務理事が挨拶。
北林篤常務理事が、開会を宣言。
 - (2) 挨拶
岩間昌一副理事長が挨拶。
 - (3) 議長選出
司会者が、議長選出方法を議場に諮ったところ司会者一任の声あり。よって、出席正会員中より、岩間昌一副理事長を本総会の議長としたい旨諮ったところ、全員一致をもって選出し、同氏は、これを了承し議長となった。
議長は、事務局に出席状況の報告をさせた。議長が、本総会では、定款一部変更案の承認に関する件が第1号議案で上程されるため、定款第18条第2項による特別決議が必要な旨を説明し、正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上の出席があったので、本総会が成立した旨を述べた。
 - (4) 議事録署名人選出
議長が、議事に先立ち議事録署名人2名の選出について諮ったところ、議長に一任することにつき、全員異議なく賛成したので、議長は、佐伯恒司常務理事及び北林篤常務理事を指名し、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。
被選任者らは、いずれもこれを承諾した。
 - 第1号議案 定款一部変更案の承認に関する件
議長が、北林豊常務理事に本件議案の説明を求めた。同氏は、予め配布した資料をもとに定款一部変更について詳しく説明した。
以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、全員一致をもって原案どおり承認可決した。
 - 第2号議案 平成24年度事業報告に関する件
議長が、吉崎裕幸常務理事に本件議案の説明を求めた。同氏は、予め配布した資料をもとに事業報告について詳しく説明した。
以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その報告を了した。
 - 第3号議案 平成24年度収支決算承認に関する件(平成24年4月1日～平成25年3月31日)
議長が、事務局に本件議案の説明を求めた。事務局より、予め配布した資料をもとに収支決算について詳しい説明があった。
引き続き監事を代表し、遠島敏行監事が、理事の職務執行状況及び計算書類等を綿密に調査したところ、いずれも適正妥当であることを認めた旨を報告した。
以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、全員一致をもって原案どおり承認可決した。
9. 閉 会
以上をもって、公益社団法人 大正琴協会 第1回通常総会の議案の全部を終了したので、議長は、議場にその協力を謝し、降壇した。そして、北林篤常務理事が閉会を宣した。

上記決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は次に署名押印する。
平成25年6月5日

公益社団法人 大正琴協会 通常総会

議 長 岩 間 昌 一 

議事録署名人 佐 伯 恒 司 

同 北 林 篤 

❖ 平成25年度大正琴協会功労者表彰 ❖

平成25年6月5日(水)、名古屋市の名古屋ガーデンパレスで行われた「公益社団法人大正琴協会第1回通常総会」に続き、平成25年度の大正琴協会功労者表彰が行われました。

22名の受賞者の皆様に協会から表彰状と記念品が贈られ、受賞者を代表して京都府の石田佐和子先生が受賞の想いと今後の抱負をお話しされました。



「平成25年度普及功労賞」受賞者の皆様

伊藤 由起子	兵庫県明石市	福家 美代子	香川県高松市
山本 悦子	三重県四日市市	日詰 尚美	香川県綾歌郡綾川町
西村 徹	岐阜県岐阜市	林 邦子	岐阜県美濃加茂市
村松 真由美	愛知県名古屋市	増田 いつい	長野県長野市
菅原 カチエ	青森県八戸市	小林 長栄	長野県長野市
尾形 淑	福島県郡山市	小池 米子	長野県長野市
吾田 智恵子	千葉県印西市	宮澤 かよ子	長野県長野市
伊藤 敦子	千葉県印西市	浅井 マリ子	愛知県岡崎市
後藤 三恵	神奈川県横須賀市	石田 佐和子	京都府京都市
国安 れい子	香川県さぬき市	澤 悦子	広島県東広島市
原 邦美	愛媛県松山市	長尾 静子	徳島県徳島市

❖ 平成25年度全国子ども大正琴コンクール ❖



平成25年8月24日(土)に、愛知県名古屋市の「ウィルあいち」のウィルホールで、「平成25年度全国子ども大正琴コンクール」が開催され、次世代を担う子ども達が日頃の成果を発表し、演奏技術を競いました。

会場は程よい緊張感に包まれ、応援に駆けつけた保護者の皆様や来場者が見守る中、それぞれが精一杯の演奏を披露し、客席からは惜しみない拍手が贈られました。参加した子ども達が、この先も大正琴を続け、地域の大正琴音楽文化の中心となって大正琴の普及に努めてくれることを願っています。

なお、このコンクールは当日会場に来られない子ども達でも、ビデオを撮影して送るだけで参加できます。また、大正琴を始めたばかりの子ども達も毎年出場しています。身近に高校生以下の子どもがいる方は、是非来年のコンクールへの参加をご検討ください。

〈平成25年度全国子ども大正琴コンクール 審査結果〉

【ライブ参加の部】

賞	部門	曲名	グループ名	県
最優秀賞	B部門	宇宙戦艦ヤマト	リトルスター	三重県
	ソロ部門	春の海	小田桐大登	愛知県
優秀賞	A部門	地上の星	Black Berry	福島県
		春雨（端唄より）	澄音キッズ	愛知県
	B部門	ルパン三世のテーマ	エンゼルキッズ	三重県
		YOSAKOI SORAN～よっちゃれ～	キーハーブくらぶ Jr.	北海道
	C部門	ドラえもんのだた	琴歌会オニオンズ	愛知県
		Believe（ピリヴ）	煌めき☆Kid'sクラブ	三重県
	ソロ部門	無伴奏独奏曲「平城山」に寄す	伊藤史恩	青森県
みだれ髪		川口瑠々愛	愛知県	
		洋楽メドレー	飯山ほか	宮崎県
奨励賞	B部門	ハナミズキ	White Fairy	愛知県
		あばれ太鼓	スマイルエンジェルス	静岡県
	C部門	およげたいやきくん	リトル・ポップコーン	長野県
		ドレミの歌（4部合奏）	琴伝流大正琴佐久桜花会 浅科子ども教室	長野県
	ソロ部門	おどるポンポコリン	ドリーム娘	大阪府
		宇宙戦艦ヤマト	今井陽太	神奈川県
		りんご追分	内堀さくら	長野県
努力賞	C部門	花は咲く	高山市立宮小学校	岐阜県
	ソロ部門	ゲゲゲの鬼太郎	市村菜緒	京都府
		地上の星	竹村美穂	三重県

【ビデオ参加の部】

賞	部門	曲名	グループ名	県
最優秀賞	B部門	高校三年生	若狭公民館 きららNo.1	沖縄県
	ソロ部門	2億4千万の瞳	宮里奈々美	大阪府
優秀賞	A部門	ラデツキー行進曲	住田町立世田米中学校 総合文化部	岩手県
		島唄	大分東明高校1年商業科 介護福祉コース	大分県
	B部門	タッチ	アンサンブルさくらんぼ	広島県
		鉄腕アトム	那覇市立松川小学校 大正琴クラブ	沖縄県
		サザエさん	ハイキッズ	鹿児島県
	C部門	荒城の月	伏見住吉小学校 “伏見宝塚”	京都府
		マーチング・マーチ	ドリーム娘	大阪府
		鉄腕アトム	こどもバンド	群馬県
		Believe（ピリヴ）	梨花の里の仲間たち	福島県
	ソロ部門	思い出のアルバム	宮崎市立住吉小学校 大正琴クラブ	宮崎県
		恋のフーガ	清水博斗	埼玉県
		野崎小唄	中島千尋	兵庫県
人生劇場		竹内基晴	愛知県	
奨励賞	A部門	少年時代	静芳会MMN	埼玉県
		トップ・オブ・ザ・ワールド	四つ葉のクローパー	広島県
		ソーラン節	アップルキッズ2	長野県
		千本桜	星槎名古屋中学校 大正琴グループ	愛知県
	B部門	AKB48メドレー	山二小土曜スクール	大阪府
		野に咲く花のように	静岡県島田市立神座小学校 大正琴クラブ	静岡県
		秋の童謡メドレー-熊本県	フォレストサウンド大正琴 可の子会 ジュニア教室	熊本県
		カントリー・ロード	琴色さくらっ子5	福島県
		上を向いて歩こう	鶴嶺小学校 古典音楽クラブ	千葉県
		森のくまさん	大和田小学校 サタデースクールグループ	東京都
	C部門	ドレミの歌	ティンカーベル	香川県
		人形	若狭小学校 心れあい大正琴教室	沖縄県
		おどるポンポコリン	阿戸キッズ	広島県
		Believe（ピリヴ）	弥富キッズ大正琴	愛知県
		Happiness	川口市立辻小学校 大正琴クラブ	埼玉県
		カントリー・ロード	すみれ会	福島県
	ソロ部門	勇気100% 「忍たま乱太郎」より	島田市立六合小学校 大正琴クラブ	静岡県
		エーデル・ワイス	梅田奈々愛	兵庫県
東京ブギウギ		由井琴葉	兵庫県	
ふじの山		高橋佑奈	兵庫県	
努力賞	B部門	ラ・クンパルシータ	春田小学校 ジャパニーズカルチャークラブ	愛知県
	C部門	翼を下さい	爽琴会ジュニア	奈良県

部門の説明（年齢基準日 平成25年4月1日）

A 部門…平均年齢が13歳を超えるグループ

C 部門…平均年齢が10歳以下のグループ

B 部門…平均年齢が10歳を超え13歳以下のグループ

ソロ部門…年齢にかかわらず一人で演奏する人

❖ 平成25年度予算 ❖

正味財産増減計算書の要旨

自：平成25年4月1日 至：平成26年3月31日 (単位：千円)

科 目	金 額
経常収益	18,810
経常費用	21,161
(うち事業費)	(15,100)
(うち管理費)	(6,061)
当期一般正味財産増減	△2,351
当期指定正味財産増減	0



❖ 会員たより ❖

聖地に響け大正琴

琴伝流 上席大師範 倉知 弦洲 (愛知県小牧市在住)

その日、私達はブダペストの世界遺産地区ブルシュマルティ広場の特設舞台に居た。第18回を迎えるという「ドナウカーニバル国際文化祭」への招きに「弦洲会」から26名が参加し、賑わう会場に、催し初となる大正琴の音色が大きくそして美しく響き渡った。

ウィーンと共にある音楽の都ハンガリーは、そこ此処に偉人ベートーベンやモーツァルト、ヨハン・シュトラウス等々の足跡を残す聖地。私には大正琴が正にその同列に並んだ瞬間とさえ思われた。更にその後もエリザベートリゲット劇場で世界各国から参加したチームに混ざって演奏を披露。満席の会場に渦巻いたあの歓声を今も忘れることができない。

私達「弦洲会」は、海外公演を恒例として早20年近く。カーネギーホールやオペラハウス等、様々な国を歴訪し日本の文化を紹介してきた。きっとこれから先も会員の夢は止むことなくこの広い世界を駆け巡り、大正琴と共に美しく力強く生き続けることだろう。



❖ 今後の予定 ❖

- ◆平成25年度 大正琴定期演奏会
日 時：平成26年2月8日(土) 開場10:30、開演11:00 ※入場無料
会 場：静岡市清水文化会館マリナート
- ◆第2回 通常総会
日 時：平成26年6月
会 場：未 定
- ◆平成26年 全国子ども大正琴コンクール
日 時：平成26年8月23日(土) ※入場無料
会 場：ウィルあいちウィルホール



編集後記

今年の夏は大雨等の気象災害が全国で発生しました。被害のあった地域の皆様には、心からお見舞い申し上げます。

東日本大震災発生から二年半が経ちましたが、原発事故問題を含め、地域によっては復興が思う様に進まない現実があります。それでも、被災地で大正琴の音色が響いていると聞きました。大正琴の音色に被災された皆様の心が癒され、大正琴が復興に向けた歩みの背中を押す小さいながらもやさしい力になればと思っております。

編集担当 北林 篤、伊藤 隆志